

<第2回夜間中学設置促進・充実協議会資料>

2019年1月25日

松戸自主夜間中学校
並びに
NPO法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会について

報告者：NPO法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会

理事長 榎本 博次

1. 「松戸自主夜間中学校」について

(1) 「松戸自主夜間中学校」の運営の基本原則

「松戸自主夜間中学校」では開講当初より運営に関しての5つの基本原則を大事にしてきました。

- ① 来る者拒まず、去る者追わず
- ② 教える者と教えられる者、分け隔てなく
- ③ ひとり一人を大事にする
- ④ 基礎学力の充実を図り、生きる力をつける
- ⑤ 「松戸自主夜間中学校」の運営は公立夜間中学づくりの一環

(2) 費用は原則的に無償です。

「松戸自主夜間中学校」は原則的に無料です。したがって、学びたいという希望を持った人は、筆記具とノートを持って来れば、いつでも誰でもが学びに来ることができます。

「松戸自主夜間中学校」は教育への権利を市民の手で実質的に保障しようというものであり、また、基礎教育は無償で行われるべきだとの考えから、開講当初よりこのようにしてきました。

(3) 「教室」は次のようになっています。

「松戸自主夜間中学校」は1983（昭和58）年8月2日に、現在も教室としている「松戸市勤労会館」の3室を借用して、「市民の会勉強会」という名称で開講しました。それは「松戸自主夜間中学校」という名称では「松戸市立の夜間中学校」と混同されるからといった単純な理由から、「松戸市勤労会館」の所有・管理者であった松戸市が使用を許可しなかったということでした。以来、約10年間に渡ってこの名称のままの使用許可で「松戸自主夜間中学校」は運営を継続してきました。

しかし、1992（平成4）年頃になると、当時は「登校拒否生徒」と言っていた「不登校生徒」が多く学びにくるようになり、「松戸自主夜間中学校」の教室となる「松戸市勤労会館」2階の5室内4室を使用しなければ間に合わなくなりました。

開講当初の生徒さんは、戦前・戦中・戦後の混乱期にさまざまな理由で学校に行きたくても行けなかった人や、在日のオモニヤ/ハルモニ、中国残留帰国者などでありました。しかし、上記の頃になると「不登校生徒」や障がい者も学びに来るようになるなど、生徒さんの数が飛躍的に増えてきました。また、市民の間での「松戸自主夜間中学校」の存在も知られてくるようになり、松戸市の「松戸自主夜間中学校」への理解、対応も開講当初とはまるで違った状況となっていました。

そこで、「松戸市勤労会館」を所管する松戸市経済振興部商工振興課と話し合いを持ち、ようやく「松戸自主夜間中学校」といった名称での使用が許されることになりました。

現在、「松戸市勤労会館」の使用料は、一般料金から3割減額された金額となっています。下記は「松戸市勤労会館」の4室及び1時間当り使用料と1回当りの合計使用料です。

- ・会議室A（定員15名。1時間：224円）
 - ・会議室B（定員35名。1時間：259円）
 - ・和室A（定員20名。1時間：147円）
 - ・和室B（定員10名。1時間：147円）
- *火曜日：2,331円 金曜日：3,108円

(4) 「開講日」は週2日です。

「松戸自主夜間中学校」の開講日は、毎週火曜日と金曜日の週2日です。

- ・火曜日 夜間部 18:00~21:00
- ・金曜日 昼間部 15:00~18:00 及び 夜間部 18:00~21:00

【松戸自主夜間中学校 2019年2月予定表】

回数 開講日	日 直	時 限	会議室 A	会議室 B	和室 A	和室 B	昼間部
3,108 2月1日 (金)		1	個別学習	個別学習	個別学習	個別学習・談話	15:00 ↓ 18:00
		2	算数・数学 (基礎学習) 榎本 博次	習 字 近藤 宙哉	個別学習	個別学習・談話	
3,109 2月5日 (火)		1	個別学習	個別学習	個別学習	個別学習・談話	休 講
		2	音 楽 (ハンドベル) 荒木美都子	英 語 英語で歌おう 古賀 芳夫	個別学習	個別学習・談話	
3,110 2月8日 (金)		1	個別学習	個別学習	個別学習	個別学習・談話	15:00 ↓ 18:00
		2	美 術 (パステル画) 黒沼 靖史	国 語 (詩を読もう) 麻場 文男	個別学習	個別学習・談話	
3,111 2月12日 (火)		1	個別学習	個別学習	個別学習	個別学習・談話	休 講
		2	音 楽 (みんなで歌おう) 高 永子ほか	人権学習 古賀 芳夫	個別学習	個別学習・談話	
3,112 2月15日 (金)		1	個別学習	個別学習	個別学習	個別学習・談話	15:00 ↓ 18:00
		2	社 会 鈴木 治孝	ハングル講座 郭 秀 鎬	個別学習	個別学習・談話	
3,113 2月19日 (火)		1	個別学習	個別学習	個別学習	個別学習・談話	休 講
		2	算数・数学 (基礎学習) 榎本 博次	理 科 鈴木久仁博	個別学習	個別学習・談話	
3,114 2月22日 (金)		1	個別学習	個別学習	個別学習	個別学習・談話	15:00 ↓ 18:00
		2	音 楽 (ハンドベル) 荒木美都子	習 字 近藤 宙哉	個別学習	個別学習・談話	
3,115 2月26日 (火)		1	個別学習	個別学習	個別学習	個別学習・談話	休 講
		2	音 楽 (みんなで歌おう) 高 永子ほか	社 会 馬目 賢治	個別学習	個別学習・談話	

(5) さまざまな方が学びに来ています。

「松戸自主夜間中学校」では開講当初より、国籍、性別、年齢、学歴など関係なく、学びたいという希望を持っている方は誰でも受け入れてきました。現在でも、いじめなどで不登校になっている人や不登校経験者、障がいを持っている人。また、数は少なくなりましたが戦後の混乱時に学齡期にあっただ方、そして、フィリピンやネパール、ベトナム、バングラデッシュなど外国籍の人たちです。

特にここ数年、外国籍の方の中でも「中国」の方が数多く学びに来られるようになっていました。その中でも15歳から18歳くらいまでの人が多く、また、家族で学びに来ている人も多くなっています。

開講時からこれまでに「松戸自主夜間中学校」を学びの場としてきた人の数は1,850名を超えています。そして、この方たちは、私たちがいろんな所で配布したチラシを見たり、知人や友人、在学校の先生などからの勧めや松戸市教育委員会からの紹介、新聞やテレビなどの報道などで知って訪ねてきました。

特に、外国籍の人たちは、松戸市内外で行われている外国人を対象とした学習講座などの友人からの口コミで知ったという場合が多いようです。

「松戸自主夜間中学校」に在籍している人たち

《外国籍の方》

国名	年齢				性別
	12歳以下	13歳～15歳	16歳～18歳	19歳以上	
中国	1	3	2	2	男
	2	6	3	8	女
フィリピン、ネパール、ベトナム、その他	1	1	2		男
	1	1			女
計	5	11	7	10	

《日本人》

理由	年齢				性別
	13歳～15歳	16歳～18歳	19歳～49歳	50歳以上	
いじめ、ひきこもり(不登校)	1	2	3		男
		2	2		女
障がい			8	1	男
			5		女
未修了、その他					男
				2	女
計	1	4	18	3	

(6) スタッフにはこんな方たちが関わっています。

「松戸自主夜間中学校」で教える側のスタッフとして関わっている方は次のような方たちです。これらのスタッフには毎月1回、3～4時間、研修を兼ねた「スタッフ会議」を開催し、生徒さんの情報交換や指導方法などを話し合っ、教育の質を高めるよう努めています。

現職または元職	年 齢					性別
	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	
小・中・高・大教員			1	4	5	男
				3	4	女
教員以外の公務員 サラリーマン・自営	1			6	3	男
		2		1		女
主婦・その他						男
			3		2	女
計	1	2	4	14	14	

(7) 授業は「一斉授業」と「個別授業」「グループ学習」「特別授業」などがあります。

「松戸自主夜間中学校」の授業には「一斉授業」と「個別授業」「グループ学習」「特別授業」などがあります。

- ・「一斉授業」……一人あるいは数人のスタッフが、数人の生徒さんを相手に授業を行います。

その月の後半に授業予定を組み、生徒さんとスタッフ全員に「予定表」を配布します。

「一斉授業」には、漢字・日本語の基礎学習、算数・数学の基礎学習、英語、理科、社会、音楽、美術、習字、人権、その他があります。教材は、その授業を担当するスタッフが作成したものを使用します。
- ・「個別授業」……生徒さん一人あるいは二人にスタッフが一人といった、マンツーマンで行う授業です。外国籍の生徒さんや不登校中の生徒さんとの授業のほとんどがこの形態です。外国籍の生徒さんで日本語がほとんどわからない方には『みんなの日本語』やスタッフが独自に作成したものを使用して行います。在学中の生徒さんには本人が使用している教科書を主に使います。また、「松戸自主夜間中学校」で取り揃えてある教材なども使用します。
- ・「グループ授業」…数人の生徒さんにスタッフ一人といった「グループ学習」方式の授業です。外国籍の生徒さんで、日本語の習得がある程度進んだ方や、共通のテーマについて学習したい人たちが集まった授業となります。教材は担当スタッフが作成したものや生徒さんから提供されたものを使用します。
- ・「特別授業」……「松戸自主夜間中学校」では開講100回ごとに外部から講師をお招きして市民に「夜間中学校」の存在を知ってもらおうとともに、必要性の理解を深めてもらうことを目的として「特別授業」を開催してきました。これまでに講師をお引き受けくださった方は池上彰、益川敏英、太田昌秀、池辺晋一郎、前川喜平の各氏らです。教材は講師が作成したものを使用します。

(8) 「松戸自主夜間中学校」の行事

「松戸自主夜間中学校」では年間を通して地域の『まつり』やフリーマーケット、松戸市主催のイベント、または独自の行事など、下記に列挙した多くの催し物に積極的に参加しています。

参加の目的は、学齢期の生徒さんが通う中学校同様、社会性や協調性などを養う場として重要であることはもちろんのこと、多くの人たちに広く「夜間中学校」を知ってもらうことや「松戸自主夜間中学校」の運営費を捻出するためであります。

- 1月 新年開講会、東京都夜間中学連合作品展
- 2月 校外学習、開講3100回記念公開授業（予定）
- 3月 お料理会、『出発の会』、未来フェスタ
- 4月 夜間中学合同お花見会、新松戸中央公園チャリティフリーマーケット
- 5月 憲法記念日の集い
- 7月 新松戸まつり
- 8月 NPO 法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会総会、夜間中学増設運動全国交流集会
- 9月 校外学習
- 10月 松戸まつり、新松戸中央公園チャリティフリーマーケット
- 11月 ふれあいまつり、花みずき公園フリーマーケット
- 12月 『北斗祭』

(9) 広報活動

広報活動は、毎月1回、JR線松戸駅の駅頭でのチラシ配りをはじめ、上記にある「未来フェスタ」や「新松戸中央公園チャリティフリーマーケット」「憲法記念日の集い」「新松戸まつり」「松戸まつり」「ふれあいまつり」等でチラシを配ったり、アピール行動をしています。

松戸市の公共施設でのチラシ配置ができれば広報効果をもっと上がるのではないかと考えています。

(10) その他

スタッフは全員ボランティアです。多くは松戸市内に居住していますが、中には柏市や千葉市、朝霞市などに居住されている方もいますので、せめて交通費の補助くらいはできるようにしたいのですが、それもやれていません。スタッフによっては教材等もポケットマネーで作成してきてくださっています。これも課題の一つです。

教室として使用している「松戸市勤労会館」の使用料は年間約30万円です。私たちはこれまで松戸市に対して使用料の減額等を要望してきませんでした。しかし、「教育機会確保法」の公布や文部科学省の通知が出されたので、これを機会に松戸市に対して使用料の減額等を要望しましたが、他の団体と区別はできないとの理由から実現していません。使用料の年間30万円の支出は運営上大きな負担となっています。「松戸自主夜間中学校」としてはこの使用料をいくらかでも減額してもらい、それを教材の充実のために使いたいと考えています。そのためにも松戸市議会の3月議会に「使用料の減額等を要望」する陳情をしようと考えています。

2. 「NPO法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」について

(1) 「NPO法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」の目的

この法人は、さまざまな理由で小学校や中学校の義務教育を受けられなかった人びとや義務教育は終了したが十分な教育を受けられなかった人びと及び義務教育を必要としている人びとなどの学習する権利を保障する場として公立中学校・夜間学級（夜間中学校）を松戸市に開設することを目的とする。

（「NPO 法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」定款第3条より）

(2) 松戸市における公立中学校・夜間学級（夜間中学校）開設運動の開始から現在まで

- ① 1979年2月2日 松戸市に夜間中学校をつくる「松戸教育を考える会」（代表・見城慶和氏）が発足。松戸市における「夜間中学校」開設運動が開始される。
- ② 1983年4月3日 「松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」（代表・藤田恭平氏）が発足し、松戸市における「夜間中学校」開設運動が拡大する。
- ③ 同 年 8月2日 「松戸自主夜間中学校」が松戸市勤労会館の3室を使用して「市民の会勉強会」という名称で開講する。
- ④ 同 年 9月8日 松戸市議会に「松戸市に公立夜間中学校の早期開設を要望」する陳情書を提出。賛否同数となり、常任委員長採決により不採択となる。
- ⑤ 1988年11月25日 松戸市議会に「松戸市に公立夜間中学校開設を要望」する陳情書を提出するも不採択となる。
- ⑥ 1991年8月30日 松戸市議会に「公立夜間中学校開設」の陳情書を提出。4議会で渡って継続審議となる。しかし、翌年9月議会で不採択となる。
- ⑦ 2015年7月1日 「NPO 法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」を設立し、松戸市における「夜間中学校」開設運動を移行・継続する。
- ⑧ 2017年2月21日 松戸市教育長が、2019年4月に「夜間中学校」を開設することを表明する。

*「松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」発足後、市長や教育長、松戸市議、県教委や市教委の担当者等との話し合いを100回以上行ってきました。

(3) 「NPO 法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」は会員制です。

「NPO 法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」は、会の活動主旨に賛同した方たちの会員制で

あり、その会費が活動資金の一部となっています。会員には、正会員と賛助会員の2種があり、正会員の会費は年額2,000円、賛助会員の会費は年額1口当たり2,000円となっています。

正会員と賛助会員のちがいはと言いますと、正会員は総会において議決権を有し、賛助会員は議決権を有しません。賛助会員は、会費を年4回発行される「松戸夜間中学ニュース」の購読料と、応援費と考えてくださっている方が多いようです。

会員数は、正会員と賛助会員合わせて約250人ほどです。会費をきちんと納入して下さる方は毎年175人くらいです。

(4) 「NPO 法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」の予算

「NPO 法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」の年間活動予算は次の表のとおりです。

〈一般会計予算〉

収入の部		支出の部	
項目	予算額	項目	予算額
会費	350,000	教室使用料	300,000
書籍販売	30,000	通信費	100,000
フリーマーケットほか	300,000	事務用品費	30,000
カンパ	180,000	行事関係費	180,000
雑収入	5,000	教材費	50,000
		備品費	75,000
		事務所費	120,000
		雑費	10,000
合計	865,000	合計	865,000

① 収入の部の「フリーマーケットほか」について

新松戸中央公園で春と秋の2回開催されるフリーマーケットや松戸まつりなど、年間5～6回、松戸市内各地で開催されるイベントに出店して「たこ焼」や雑貨等を販売し、利益を上げるものです。

② 支出の部の「会場費」について

教室として使用する「松戸市勤労会館」の「会議室A」「会議室B」「和室A」「和室B」の借用料です。「NPO 法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」の年間予算を考えると、この「会場費」の負担が重くのしかかってきており、これがいくらかでも減免されると「教材費」等に予算を回すことができるのではないかと考えています。しかしながら、「松戸市勤労会館」は松戸市教育委員会の所管ではないため減免率を上げることができません。

(5) 「NPO 法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」の組織構成

「NPO 法人松戸市に夜間中学校をつくる市民の会」は、別紙1にある組織図のように構成されています。事務局は、担当を「公立開設」「総務」「自主夜間中学校」といったように3つに分け、それぞれにNPO 法人の理事を数人ずつ割り当てています。

また、理事会とは別に「運営事務局会議」を開催し、実質的な執行機関としての役割を担っています。「運営事務局会議」は原則として毎月第2日曜日の午後で開催し、構成メンバーは理事長や会計、事務局員などのほかに事務局長が必要と認めた者となっており、いくなれば誰でも出席できるようになっています。